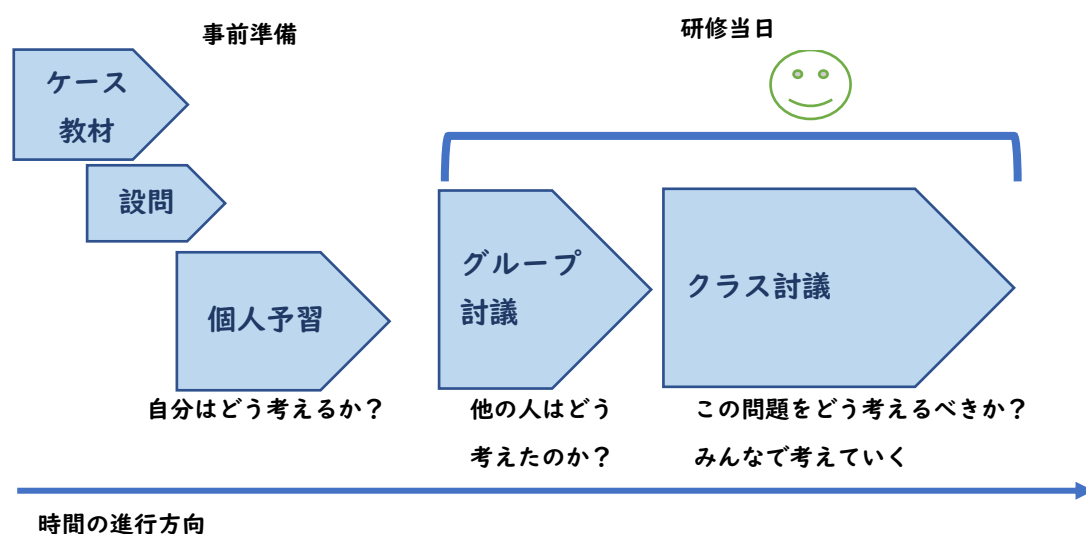


I. ケースメソッドについて

ケースメソッド教育は 1922 年 5 月に ハーバード大学ビジネススクールで始まった教育方法です（100 年の歴史があります）。ケースメソッドでは、実際に起こった出来事をベースに作成された「ケース」を読み込み、クラスで討議を行います。

ケースメソッドによる討議は、各自の考え、判断、意見を持ち寄り、発言しあい、思考を重ね合わせることで、相互の成長に資するものです。

II. ケースメソッド授業のプロセス



✓ ケース教材（PDF）と設問を参加者へ事前に送ります。

✓ 各自、ケースを読み、設問について考えたことを A4 1 枚程度に書き留めた上で参加してください。

（ケースは不許複製。著作物であるため、研修終了後 PDF は削除してください）

III. ケースメソッド授業への参加のキーコンセプト

1. 学びの共同体

様々な背景を持つ個性が混じり合い、自分と集団の学びのために協力し合います。

2. 「勇気」「礼節」「寛容」

「勇気」：失敗を恐れず発言すること。参加者が一斉に手をあげて講師が指名することで進行します。

「礼節」：仲間同士の礼儀をわきまえること。

「寛容」：仲間と経験・洞察を交換しようというオープンな心。多様性を認めること。

考えを発言したり、様々な人の考えを聞くことによって、自分の考えが変わったりすることが面白い授業です。新人育成の経験がない人、ある人、いろいろな人がいるから「学びの共同体になっていく」ことが期待できます。

国際医療福祉大学大学院
公衆衛生看護学領域